

会員だより

ラインに嵌って

私は、携帯電話を持っていましたが、ほとんど使っていませんでした。ガラケイが使えなくなると聞いて、スマホに買い換えました。全く使い方が判りません。そこで入門教室に参加することにしました。

1週間に1回くらい、歩行器にすがってヨチヨチと通いました。雨が降ると休みます。1回目は基本動作から始め、文字の入力、電話とメール1回、約1時間。何とか基本は理解できました。



ガラケイからスマホに変えて楽しんでいます

それは生徒がいつも私だけか、2人くらいでよくわかったからです。次にマップの項のときは教室だったので私の耳には先生の話は全く聞き取れませんでした。店の方に聞

くと、有料で1対1で教えてもらうことが出来る」と知りそれをお願いしました。



若い先生に手取り足取り指導を受けました

若い綺麗な女性の先生で親切に手取り足取りの状態を指導してくださいました。パソコンのときもそうでしたが、ヨコモジが判らないので難儀です。先生の言われることをそのまま書き取り、帰ってからそれをパソコンで逐条的に整理します。

「ラインへ友だちの招待ホームの右上の(人型)のマークに 招待+SMS ↓ 相手を選ぶ」という調子です。

それを次回に見てもらって違うところは訂正します。

それからは親戚やら雀友やらにラインを送りまくって、「富美子伯母はラインに嵌っています」と揶揄される始末です。例えば麻雀に負けて雀友

に「ウエーンMさんに虐められたあ。コテンパンにやられたあ。だれか慰めてえ」「フミコ先生に教えてもらった通りにやったのに」「まあまあお気の毒ですこと」などと今までのメールと大きく違うのは、即時にやり取りが出来ることです。そしてなにより、こうして打てば響くように返って来る仲間がいることが幸せです。

スマホは特にラインは面白くてすっかり虜になっています。軽妙な言葉の遊びでそれが楽しくてたまりません。

今まで知らなかった相手の方のやさしい思いやりや、教養の深さも感じられて、それが出来る友だちのいることがほんとに幸せです。スマホに変えてよかったですと思っております。まだまだ判らないことだらけですが、ほんとは嵌りました。



ラインに入れるスタンプ作りに夢中

今はラインに入れるスタンプに夢中です。もうパソコンのことを忘れそうです。

最近とても体調が悪く落ち込んでいたのに、気持ちだけはすっかり元気になりました。

記・牧戸富美子



安満遺跡公園の感想

令和4年5月19日、V G概輪の18人のお仲間で安満遺跡に行つてまいりました。ここは高槻市の中心部で広大なセントラル公園となっています。



メインエントランスから見た安満遺跡公園

市民の憩いの場であるとともに、広域避難場所としての役割ももっておりです。でも、なりよりも遺跡として価値ある歴史資産です。約2500年前の弥生時代の環壕集落跡が眠っています。掘り起こされました。ここには弥生人の一生がうまつ

ておりました。環濠を巡らせてその中に村ができておりました。



弥生時代の田づくり風景 (弥生文化博物館の展示)

力を合わせて水田を作り農機具を作り機を織り協力して豊かに暮らしておりました。村の隅に墓域があり手厚く葬られた跡も埋まっておりました。常設のシアターでその生涯ぶりを映像で見ることができました。ギャラリーには資料展示も多くありました。



弥生時代の竪穴式住居内 (弥生文化博物館の展示)

これらを見て弥生時代はもう日本人の生活様式がほぼ決まっていると感

じ、驚きを禁じえませんでした。

見ると家庭団欒の雰囲気を感じ、真ん中には、人を暖める火があり、愛犬までおりました。これは、和泉市池上町にある大阪府弥生文化博物館にも同じ写真を見る事ができましたこの館内にいる卑弥呼の人形は、美人でオシヤレで素晴らしかったです。もちろん安満

にあるポーネルドの中にも飾られた弥生人の女性性は、オシヤレで現在の感覚と変わらないと言うのが強烈な印象でした。



鏡をかかげる卑弥呼 (弥生文化博物館の展示)

勾玉もシンプルゆえに弥生人の女性にはとても似合っていました。

汗をかきながら足をかばって楽しい歴史散歩でした。百聞は一見に如かず弥生人になった気持ちもしました。ウクライナの現状を憂いた話もしました。豊かな一日を過ごすことができました。

記・宝角弘枝